

神戸大学文学部は、人類の文化的営みの蓄積としての人文学を、古典を通して深く理解するとともに、社会的対話によりそれを実践して行く能力を身につけ、現代社会において活躍できる人材を育成することを教育の目的としている。また、徹底した少人数教育により、個々の学生の好奇心に応え、自ら問題を設定し、解決するスキルを学生に伝授することを目的としている。

この教育の目的を達成するため本学部は、神戸大学が定める学位授与に関する方針に基づき、以下のように学士（文学）の学位授与に関する方針を定める。

1. 本学部は学修の目標を、神戸大学の学位授与基準に関する方針で定められた能力等に加え、以下の能力等を身につけることとする。

- ・人文学に関わる課題について自ら主体的に学び、協働して解決することができる能力（人間性）
- ・人文学の意義と重要性を理解し、複眼的に思考することで、人文学の発展に貢献することができる能力（創造性）
- ・異なる文化によって育まれた多様性を理解・受容し、必要な外国語でコミュニケーションをはかる能力（国際性）
- ・自らの好奇心を学問的に問題化し検証する訓練を積むことを通じて、人文学の幅広い知識を獲得する能力（専門性）
- ・人類の知的営みの蓄積である古典を通じた人文学共通の問題・課題についての理解力（専門性）
- ・文化・言語・学域の壁を越えた意思疎通および連携を可能にする社会的対話力（専門性）
- ・固有の学問的課題を知の普遍的課題に位置づける深い洞察力（専門性）

2. 本学部は、学士（文学）の学位を授与するための卒業の要件を、本学の所定の期間在学し、学部規則に定められた単位を修得して、神戸大学及び本学部の定める学修の目標を達成することとする。